

Quarto Template

技術書用

PureHertz

2025 年 8 月 15 日

目次

はじめに	2
更新履歴	2
第 1 章 Quarto Template 1	3
1.1 このテンプレートについて	3
1.2 Section	4
1.3 Tables	4
1.4 Figures & Links	4
1.5 Equations	5
1.6 List	5
1.7 Code blocks	6
1.8 Citations	6
1.9 Footnotes	6
1.10 Page break	6
第 2 章 Quarto Template 2	7
2.1 このテンプレートについて	7
2.2 Section	8
2.3 Tables	8
2.4 Figures & Links	8
2.5 Equations	9
2.6 List	9
2.7 Code blocks	10
2.8 Citations	10
2.9 Footnotes	10
2.10 Page break	10
あとがき	11
参考文献・資料	12

はじめに

はじめに

更新履歴

- 2025-08-14
– ver. 1.0

第 1 章

Quarto Template 1

1.1. このテンプレートについて

Quarto のテンプレートです。Quarto については、以下のリンクを参照してください。Quarto 専用を含む Markdown の表記方法も記載されています。

- <https://quarto.org/>

Quarto の他に以下のものがが必要です。

- TinyTeX: Quarto インストール後に `quarto install tinytex` を実行してください。
- サンセリフフォント
 - Noto Sans
 - Noto Sans JP
- セリフフォント
 - Noto Serif (for book)
 - Noto Serif JP (for book)
- 等角フォント
 - PlemolJP

テンプレートのファイル構成は以下の通りです。

- `_quarto.yml` : Quarto の設定ファイル
- `_preamble_book.tex` : LaTeX のプリンプルファイル
- `***.md` : 各章の Markdown ファイル
- `***.qmd` : メインコンテンツ以外の Markdown ファイル
- `***_assets/` : 各章の画像やその他の素材を格納するフォルダ
- `refs.bib` : 参考文献の BibTeX ファイル
- `the-optical-society.cls` : 参考文献のスタイルファイル
- `_book/` : 出力フォルダ

章ごとに Markdown ファイルを作成し、YAML ヘッダーで章のタイトルを指定します。テンプレートでは、`quarto_template_1.md` と `quarto_template_2.md` の 2 つの章を用意しています。image ファイルなどの素材は、各章ごとに `quarto_template_1_assets` や `quarto_template_2_assets` のようなフォルダを作成し、そこに配置して参照します。各章の Markdown ファイルと対応する素材フォルダを取り出せば、そのま

ま technote テンプレートでも使用できます。

上記以外に、まえがき `index.qmd` とあとがき `postface.qmd` の Markdown ファイルも用意しています。`index.qmd` が無いと `quarto render` が通らないので注意してください。参考文献と奥付は `references.qmd` で自動生成します。参考文献を使用しない場合は、このファイルを編集して参考文献部分をコメントアウトしてください。

全体の設定は `_quarto.yml` で行います。必要箇所を変更して使用してください。

1.2. Section

`# xxx` は、Chapter に使うので、`## xxx` を Chapter のひとつ下のレベルの見出し(section)とします。technote テンプレートと共通化するため、章のタイトルは YAML ヘッダーで指定することになります。

1.2.1. Subsection

Subsubsection

Text

Paragraph Text

1.3. Tables

表 1.1: 表の例

Header 1	Header 2
----------	----------

表 1.1 は表の例です。

1.4. Figures & Links

1.4.1. Figures

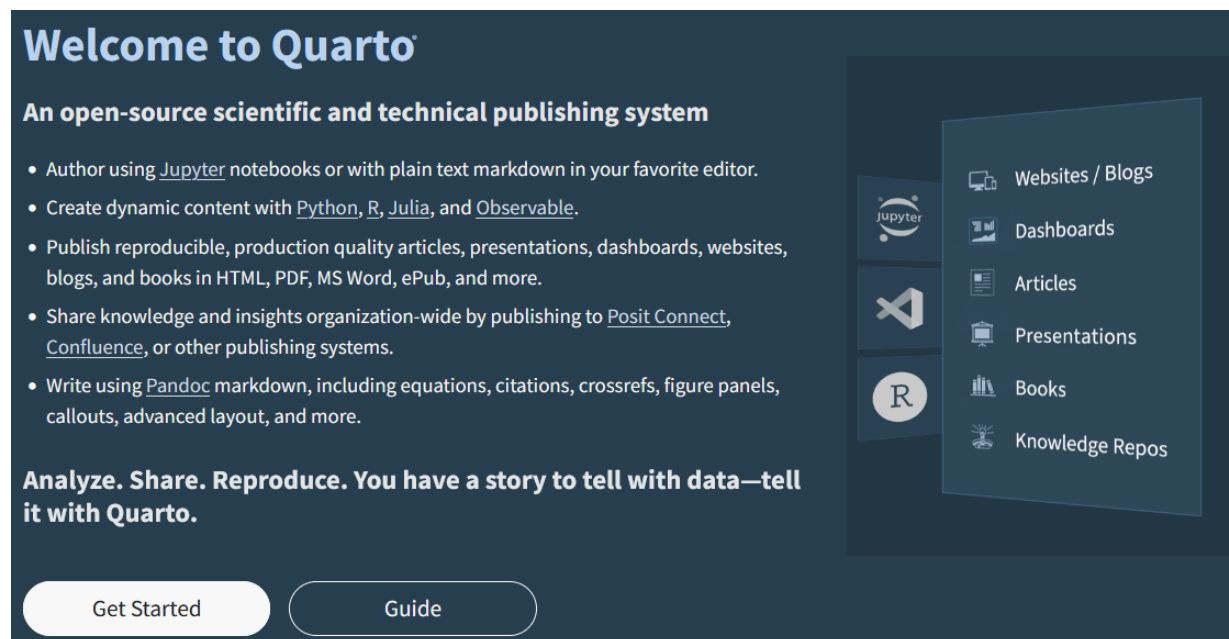


図 1.1: 図の例

図 1.1 は図の例です。

1.4.2. Links

[Quarto](#)

1.5. Equations

$$f(x) = ax^2 + bx + c \quad (1.1)$$

式 (2.1) は式の例です。本文中で参照した式番号に括弧は自動ではつかないので、手動でつけて下さい。インライン数式は $f(x) = ax^2 + bx + c$ です。

1.6. List

- Item 1
- Item 2
- Item 3
 - Item 3-1

– Item 3-2

1. Item 1
2. Item 2
3. Item 3
 1. Item 3-1
 2. Item 3-2

1.7. Code blocks

```
inline code block
```

```
# Code block example  
print("Hello, World!")
```

1.8. Citations

[1] は引用の例です。

1.9. Footnotes

Here is a footnote reference,^{*1} and another.^{*2}

Here is an inline note.^{*3}

1.10. Page break

どうしてもレイアウト調整が必要な時に使います。

^{*1} Here is the footnote.

^{*2} Here's one with multiple blocks.

^{*3} Inlines notes are easier to write, since you don't have to pick an identifier and move down to type the note.

第 2 章

Quarto Template 2

2.1. このテンプレートについて

Quarto のテンプレートです。Quarto については、以下のリンクを参照してください。Quarto 専用を含む Markdown の表記方法も記載されています。

- <https://quarto.org/>

Quarto の他に以下のものがが必要です。

- TinyTeX: Quarto インストール後に `quarto install tinytex` を実行してください。
- サンセリフフォント
 - Noto Sans
 - Noto Sans JP
- セリフフォント
 - Noto Serif (for book)
 - Noto Serif JP (for book)
- 等角フォント
 - PlemolJP

テンプレートのファイル構成は以下の通りです。

- `_quarto.yml` : Quarto の設定ファイル
- `_preamble_book.tex` : LaTeX のプリンプルファイル
- `***.md` : 各章の Markdown ファイル
- `***.qmd` : メインコンテンツ以外の Markdown ファイル
- `***_assets/` : 各章の画像やその他の素材を格納するフォルダ
- `refs.bib` : 参考文献の BibTeX ファイル
- `the-optical-society.cls` : 参考文献のスタイルファイル
- `_book/` : 出力フォルダ

章ごとに Markdown ファイルを作成し、YAML ヘッダーで章のタイトルを指定します。テンプレートでは、`quarto_template_1.md` と `quarto_template_2.md` の 2 つの章を用意しています。image ファイルなどの素材は、各章ごとに `quarto_template_1_assets` や `quarto_template_2_assets` のようなフォルダを作成し、そこに配置して参照します。各章の Markdown ファイルと対応する素材フォルダを取り出せば、そのま

ま technote テンプレートでも使用できます。

上記以外に、まえがき `index.qmd` とあとがき `postface.qmd` の Markdown ファイルも用意しています。`index.qmd` が無いと `quarto render` が通らないので注意してください。参考文献と奥付は `references.qmd` で自動生成します。参考文献を使用しない場合は、このファイルを編集して参考文献部分をコメントアウトしてください。

全体の設定は `_quarto.yml` で行います。必要箇所を変更して使用してください。

2.2. Section

`# xxx` は、Chapter に使うので、`## xxx` を Chapter のひとつ下のレベルの見出し(section)とします。technote テンプレートと共通化するため、章のタイトルは YAML ヘッダーで指定することになります。

2.2.1. Subsection

Subsubsection

Text

Paragraph Text

2.3. Tables

表 2.1: 表の例

Header 1	Header 2
----------	----------

表 2.1 は表の例です。

2.4. Figures & Links

2.4.1. Figures

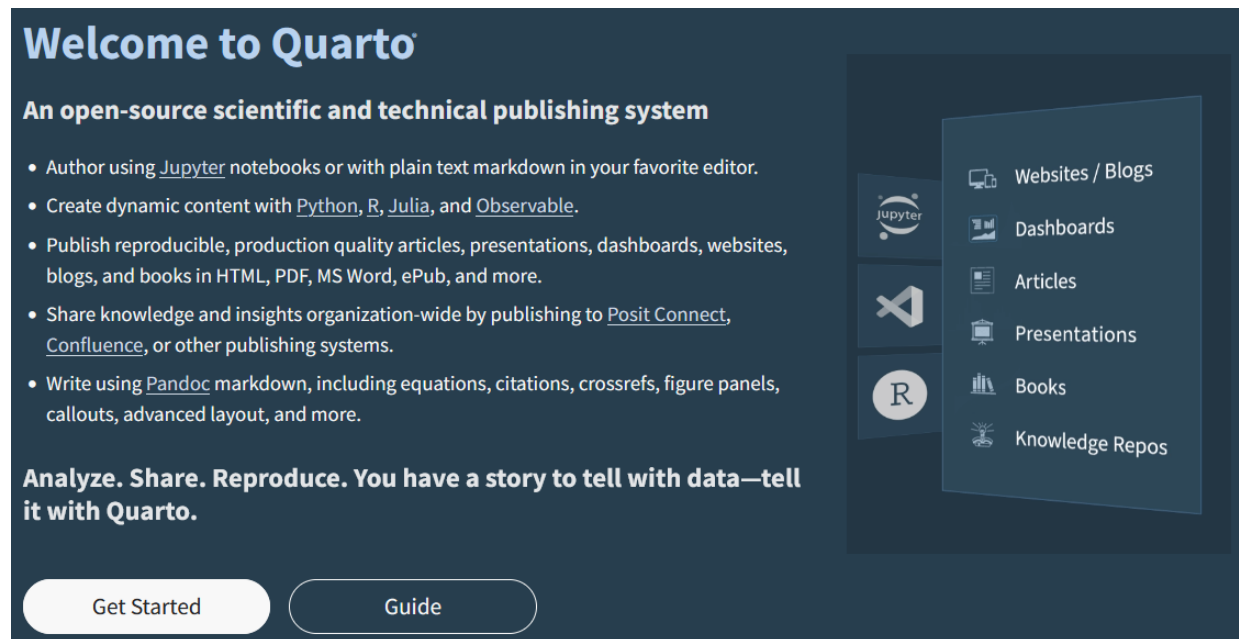


図 2.1: 図の例

図 2.1 は図の例です。

2.4.2. Links

[Quarto](#)

2.5. Equations

$$f(x) = ax^2 + bx + c \quad (2.1)$$

式 (2.1) は式の例です。本文中で参照した式番号に括弧は自動ではつかないので、手動でつけて下さい。インライン数式は $f(x) = ax^2 + bx + c$ です。

2.6. List

- Item 1
- Item 2
- Item 3
 - Item 3-1

– Item 3-2

1. Item 1
2. Item 2
3. Item 3
 1. Item 3-1
 2. Item 3-2

2.7. Code blocks

```
inline code block
```

```
# Code block example  
print("Hello, World!")
```

2.8. Citations

[2] は引用の例です。

2.9. Footnotes

Here is a footnote reference,^{*1} and another.^{*2}

Here is an inline note.^{*3}

2.10. Page break

どうしてもレイアウト調整が必要な時に使います。

^{*1} Here is the footnote.

^{*2} Here's one with multiple blocks.

^{*3} Inlines notes are easier to write, since you don't have to pick an identifier and move down to type the note.

あとかき

あとかき

参考文献・資料

- [1] J. L. Hall, "[Nobel Lecture: Defining and measuring optical frequencies](#)," Rev. Mod. Phys. **78**, 1279–1295 (2006).
- [2] T. W. Hänsch, "[Nobel Lecture: Passion for precision](#)," Rev. Mod. Phys. **78**, 1297–1309 (2006).

Quarto Template

技術書用

2025 年 8 月 15 日 第 1 版発行

発行: PureHertz

著者: PureHertz

©2025 PureHertz